

豆田町並み通信

第47号

発行者
豆田町伝
建保存会
25年3月

第三十回天領おひなまつり盛大に！

三十回を祝って実施された記念イベントは、好天に恵まれ多くの参加者で賑わいました。

特に三月三日は、まつり本番となる事から、「流し雛」には千二百名が参加しました。



大原雅楽会による演奏と舞



恒例の流し雛・今年は2日間実施



立花社中による琴の演奏



もちまきには多くの観光客が



野点の接待に寛ぐ観光客



本年設置の路上縁台で一休み



プロのジャズ演奏に聞き入る



スタンプラリーも大盛況



平成25年度の事業計画を論議した審議会

その他の建物について、伝建事業では履歴に基づいたもの、街なみ環境整備事業では景観に配慮したものとなる様、事業内容説明のため同席した設計士に要望が出されました。

審議のなかでは、昨年より修理を行っている長福寺の旧園舎の改修に伴って、廣瀬淡窓が最初に開塾した学寮の礎石が出たことから、一般に公開出来るような形に出来ないかななどの意見が出されました。

平成二四年度 第二回 町並み保存審議会開催
二月二十八日(木) 日田市埋蔵文化財センターで本年度第二回目の町並み保存審議会が開催されました。

会議では、平成二十五年度の修理修景事業対象六件の物件の内容について審議がなされました。



円筒形の貯水槽が設置された旧古賀医院

昨年八月には、豆田に大火が起っており、すぐ裏手には国の史跡に指定予定の廣瀬淡窓旧宅があり、防火対策が急がれていました。

尚、二基の防火水槽の設置される広場は一部に池を配し、災害時に地域住民が避難出来る「防災広場」として整備される予定です。

防火水槽の設置が進む！
三月四日(月) 早朝、防火水槽の設置工事が行われました。

この防火貯水槽は、平成二十三年度の十二月に設置されたコンクリート製防火水槽について二基目となり、旧古賀医院を曳き戻した跡地に設置するもので、容量は前回同様の六十ト、円筒形で材質はFRP仕様になっています。

豆田会防災部会 防災訓練！

一月二十六日（土）、文化財防火デーに併せて豆田町伝建保存会の防災部会による防災訓練が行なわれました。

この防災部会は伝建地区内五自治会より選任された「情報班」「消火班」「避難誘導班」などで組織され、今回は各班の迅速な連絡体制を確認する為の非常呼集訓練が行なわれました。

最初の「地震が起きた」の一報から委員が集合場所に集合するまで約三十分掛かり、一般電話と携帯電話のどちらで連絡をするのかなどの課題が明らかになりました。

この後、消防職員の指導を受け、救命訓練として、心肺蘇生法とAEDの操作方法について講習を受けました。



心肺蘇生法を学ぶ参加者

豆田まちづくり協議会 宇佐市での景観研修会参加

二月十六日（土）、宇佐市で景観セミナーが開催され、豆田まちづくり協議会（橋本成人会長）のメンバーを主体に十五名が参加しました。

セミナーでは東京大学の堀繁先生による「景観を生かしたまちづくり」をテーマにした基調講演が行なわれました。

先生は「景観は人が見て始めて成立するもので、見たいものが見やすい状態にあつてこそ、景観が生きてくる。為にはゆっくりと見れる視点が必要」と指摘、更に「店舗では店の前に緑がある、ベンチがあるなどのもてなしの気持ちは大事で、ウインドーや壁にポスターや商品チラシを貼りまくるのは逆効果だ」とも指摘されました。



町歩きで景観の重要性を説明する堀先生

咸宜園教育顕彰事業で 作文発表！

二月二十三日（土）、パトリア小ホールで今年度の咸宜園教育顕彰事業の表彰式及び発表会が開催されました。

この事業は、廣瀬淡窓や咸宜園教育の理念とその業績を継承するために創設され、咸宜園が開かれた二月二十三日を「咸宜園の日」に定め、昨年より表彰と発表会を実施しています。

今回は一般発表（下関在住の亀田一邦さん）と併せて特別発表として、昨年豆田地区振興協議会が主催した「作文コンクール」に於いて、最優秀賞を受賞した桂林小の渡辺なつみさん、優秀賞を受賞した咸宜小の落合創太君、桂林小の穴井雅貴君が受賞作品を発表しました。



発表する渡辺さん、後方は落合君・穴井君

廣瀬家源兵衛稲荷 初午祭！

二月九日（土）、廣瀬家で代々守られてきた源兵衛稲荷の初午祭が地区住民二十名が参加して行なわれました。

橋本神官が祝詞を奏上した後、廣瀬資料館の関係者や地元住民が玉串を奉納し、商売繁盛と豆田の繁栄を祈っていました。



源兵衛稲荷にお参りする地元住民の皆さん

予 告

屋外広告物説明会
日時：四月二十四日
午後七時～

場所：若野屋
大分県都市計画課を招いて、県の屋外広告物条例の内容を聞き、豆田での屋外広告物の在り様を模索します。